

発行所(郵便番号100)  
東京都千代田区丸の内2-4-1  
丸の内ビルディング617号室  
社団法人スウェーデン社会研究所  
Tel (3212) 4007・1480  
Fax (3212) 1447  
編集責任者 岡 沢 憲 芙  
印刷所 関東図書株式会社  
定価300円(年間講読料四千元)  
1992年12月25日発行  
第24巻 第12号  
(毎月1回25日発行)  
昭和44年12月23日第3種郵便物認可

# スウェーデン社会研究月報

Bulletin Vol. 24 No.12

Japanska Institutet För Svensk Samhällsforskning  
(The Japanese Institute for Social Studies on Sweden)  
Marunouchi-Bldg., No.617 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan.

## EC加盟を前にためされる[コンセンサス・ポリティクス]の真価

Sweden: Tradition of Consensual Politics and EC problem

常務理事 岡 沢 憲 芙

Managing Director, Prof. Norio Okazawa

500%ショック。スウェーデン中央銀行が限界貸し付け率を500%に引き上げたという報道は世界中に衝撃を与えたようである。500%という数字の大きさがその理由であった。それに先立つシナリオはこうであった。先ずフィンランドがマルカを変動相場に切り替える決定をした。そして、フランスがマーストリヒト条約承認に関する国民投票で不確実な結果を出した。デンマークの国民投票の結果が示した不透明な未来を裏書きしたようなものであった。金融市場の混乱が一気に加速された。中央銀行としてはクローナ保護のために思い切ったショック療法に出る必要を感じた。例のない金融不安の流れを止めるためには、瞬間だけでもウルトラ級の大胆な歯止め作が必要。問題は政党政治がその決断に同意してくれるかどうかであった。

スウェーデンの政党政治は社民党を回転軸にしたコンセンサス・ポリティクスで有名である。議会政党は、慎重で徹底的な科学的調査・研究と合理的な討論を基礎に、相違点ではなく妥協点を発見し、政党線を超えて合意領域を拡大しようとする傾向が強い。感情論や情緒論とはほど遠いクールな合意形成技法優先の政治である。今回も見事にコンセンサス・ポリティクスの伝統が生かされた。C・ビルトを首班とするブルジョワ4党連合政権は4党合計でも過半数議席に足らぬ相対多数連合政権。最初から大胆な政策転換など不可能なことは分っていた。この政権の運命を握るのは、何度も指摘してきたが、圧倒的な第一政党である

社民党。社民党のI・カールソンは前例のない金融危機に直面して、側面から政府の決断を支持して、世論の分裂を慎重に回避した。9月20日、クローナのおもわく買いを阻止し、インフレ抑制、福祉と雇用の安定を狙った危機克服経済パックに合意した。第2次大戦中の戦時大連合政権を彷彿させる政治休戦の成立である。

中央銀行はその後、何度も限界貸し付け率を引き下げた。10月30日には11回目の引き下げが実施され、12%に落ち着いた。その間に国内外の投機筋による通貨の流出量は約650億クローナ(約1兆2880億円)に達したと報告された。EC加盟を前にまだまだ苦難が続くそうである。企業の競争力を拡大するために福祉水準の下方修正は避けられない。コンセンサス・ポリティクスの真価が問われるのはこれからかもしれない。

### 目次

EC加盟でためされる[コンセンサス・ポリティクス]の真価	岡 沢 憲 芙	1
岡沢憲芙教授 北極星勲章コマンダー受賞		2
スウェーデンにおける政策参加制度の変容	宮 本 太 郎	2
お知らせ・スウェーデン ミュージックウィーク		3
新刊紹介・SIPニュース		4
平成4年度研究月報目次一覧		5

## 岡沢憲美教授 北極星勲章コマンダー受賞

早稲田大学教授で当研究所常務理事である岡沢憲美先生が、去る12月3日（木）に在日スウェーデン大使館の大使公邸にて、北極星勲章コマンダーを授与された。

これは長年にわたって、主に政治社会分野において日本とスウェーデンの架け橋として重要な役割を果たした功績が高く評価されたものである。

★ 北極星勲章は、1748年にスウェーデン国王フレデリック1世によって創設されたもので、スウェーデンへの貢献・尽力が認められた外国人にたいして授与されるものである。

## スウェーデンにおける政策参加制度の変容

### Decline of the Swedish Corporatism

立命館大学助教授 宮本太郎

Associate Prof. Taro Miyamoto

スウェーデンモデルを特徴づける様々な社会制度のうち、私のように政治学を勉強している者の関心を強くひくものに、労使を中心とした諸社会集団による政策過程への参加制度がある。政策過程を、法律や予算がつくりだされ承認される過程つまり政策形成過程と、それが政府機関によって実行される過程つまり政策執行過程に分けて考えると、そのすべてのプロセスに社会集団の参加が制度化されていることがスウェーデンモデルの特質であった。政策形成過程においては、調査委員会Utredningへの参加をとおして集団代表が政策の立案に携わっており、またこれを補強する制度として、委員会原案を各集団が回覧した上での意見聴取手続きにRemissがある。さらに、政策執行の中核となる庁組織には、社会集団代表の直接参加による各種行政委員会Styrelseがあり、政策が実施される過程にイニシアティブを発揮している。とくに労働市場庁の行政委員会Arbetsmarknadsstyrelseはスウェーデンの積極的労働市場政策の中心としてよく知られているところである。これらはいずれも、スウェーデン政治の政策革新能力を支えるメカニズムであり、また同時にかかる参加制度が、各社会集団の政策提起能力を向上させてきた。社会集団の政策過程参加を政治学的にはコーポラティズムというが、スウェーデンは高度のコーポラティズム国家とみなされてきたのである。

ところが80年代以降、こうした政策参加の回路が徐々に狭められてきている。まず、調査委員会についていえば、1980年に422の調査委員会が活動していたのに対して、87年にはその数は195にまで減少している。また、調査委員会のメンバー中、官僚や政党代表に比べて社会集団代表の比率が減少している。さらに、行政委員会についても80年代初頭から根本的な見直しが始まっている。83年に野党主導で設置された調査委員会は、行政委員会制度をとおして表明される意見がほんとうに参加集団の構成員の利益を反映しているかは疑問であるとし、同制度は根本的に見直されるべきであるという旨の答申を行なった。この時は社会民主党政権下であって、この答申は本格的に取り上げられるに至らなかったが、昨年度の政権交替の後、経営者団体SAFがまず動いたのはこの行政委員会制度の見直し問題にかんしてであった。92年に入って、SAFは労働市場庁を含む主要な行政委員会からの代表委員のいっせいきり上げを決めた。経営側代表が引き揚げれば、労働側代表だけが行政委員会にとどまるわけにもいかず、コーポラティズム的なシステムの根本的な修正に結びつくであろう。

こうした動向の背景としては、つぎのような事態が指摘できよう。第一に、より効率的でスピーディーな行政運営を求める向きからすれば、手間暇かけての参加制度はしだいに重荷に感じられる

ようになってきたこと。第二に、こうした参加システムはあくまで巨大社会集団を媒介としているのに対して、スウェーデンの労働者や市民の組織ばなれの傾向が顕著になってきたこと。第三に、スウェーデン企業の多国籍化がすすむなかで、経営サイドが、国内の政策問題について労働側と細かな調整をおこなうことにさほどの関心を持たなくなってきたことである。

スウェーデンの政治システムの変化について実に詳細な報告をした90年の権力問題調査委員会のメインレポートは、こうした参加制度に代わって、マスメディアやロビイストの役割が増大してきていると述べている。スウェーデン政治のアメリカ化が進行しているということもできよう。ただし

長期的な視点で見れば、こうした動向は民主シーの後退としてのみ解するわけにもいかない。これまでのスウェーデンモデルは、よくも悪くも巨大社会集団中心のシステムであった。これを一人ひとりの市民中心でより分権的なシステムへと発展させていく転機が訪れているのかもしれないのである。最近ニュー・スウェーデンモデルという言葉をししばしば耳にするが、基本的にはそのような方向での新展開が念頭に置かれている場合が多いようである。ただし、これまでのスウェーデンモデルのメリットを維持しながらどうやって個人化・分権化をすすめていくのか、ニュー・スウェーデンモデルの具体的な内容はまだ必ずしも明らかでない。

## 〈大使館からのお知らせ〉



## スウェーデン ミュージックウィーク

1993年2月1日から5日までスウェーデン大使館に於てレコードコンサート開催

スウェーデンの音楽、レコーディング技術、アーティスト達は、世界中の音楽愛好家やオーディオマニアの間でよく知られている。そのスウェーデンの音楽への理解をさらに深め、楽しんでもらうために、東京のスウェーデン大使館が、来年2月1日（月曜日）から5日（金曜日）まで、午後のレコードコンサートを開催することになった。クラシックやジャズから現代音楽までさまざまなジャンルの音楽を、ビス（BIS）、プロプリウス（Proprius）、ドラゴーン（Dragon）などといった有名ラベルのレコード、コンパクトディスクを使って紹介しようというもので、最高の音質を保証するため、一流のステレオ装置のみを使用しているコンサートとなる。

入場は無料。ただしスペースが限られているため、大使館では、希望の日時を明記したメモを付けて、自分の住所、氏名を記入した封筒を送ってきた人に、日時を指定したチケットを郵送する予定。封筒の送り先は下記のとおりで、1993年1月15日到着分まで受付。

106 東京都港区六本木1-10-3-100

スウェーデン大使館

ミュージック・ウィーク（ダーク・クリングステット）宛て

TEL: (03) 5562-5050

## 《新刊紹介》

### 『新版 スウェーデンハンドブック』

スウェーデン社会研究所編 早稲田大学出版部

以前にも月報で予告させて頂きましたが、このほど早稲田大学出版部より創立25周年を記念いたしまして、『新版スウェーデンハンドブック』が発売されました。

以前にご好評いただきました『スウェーデンハンドブック』ほぼ同じ執筆陣によって、新しく加筆がされており、最近までのスウェーデンの様子を全体的に知るのに役立ちますし、今後の動向を知る上でも大変に有益な一冊です。

最後のあとがきの部分で岡沢憲美先生が91年の選挙とEC加盟問題について解説されています。また、この度の新版にあわせ表紙のデザインも新しくなりました。是非皆さんにご購読頂きたいと存じます。

## 〈SIPニュース〉

### 産業予想；危機回避措置が状況を改善、ただし、景気動向はひきつづき低迷

スウェーデン産業連盟は、この10月に「苦難を通じて」というタイトルの経済レポートを出したが、その骨子次の通り。

「過去数週間に、スウェーデン政府と野党の社民党によって合意に達した危機を乗り切るための二つの一括政策は、スウェーデンの経済政策及び為替レートの信頼を高めた。これらの政策は、その他の場合に比して、より良い商工業の発展のための賃金協定の延長、極めて低い賃金上昇率、利子率の大幅引下げのための道を開いた。

これらの措置は、1993年及び1994年後半の産業の景気上昇の可能性をひらくものと見込まれるが、スウェーデン経済の再建問題は未だに極めて深刻であり、為替レート及び利子率に関する重大な危機が回避された後でさえ、近い将来の発展は大して期待できないであろう。国際経済のかつてない程明白な不均衡もスウェーデン経済に、直接作用し、極めてはっきりした影響を与えた。

連盟の5月レポートで、工業関連企業は輸出及び生産計画双方に関して楽観的な見方を示したが、今では、国際的景気動向が、輸出に関する見込みデータを下方修正せざるをえないことは明白であり、工業生産の渋滞もしくは減少は生産計画を2-3%消滅させることとなろう。

高利子率は、工業及び経済における他部門にも影響を及ぼしており、今後半年から9か月に渡って、破産の増大と投資及び個人消費の減少の要因となろう。

現行の不景気は、その深刻さにしても期間の長さにしても際立っており、GNPについていえば、昨年の減少率が1.4%、本年上半期では1.2%であった。雇用への影響も深刻で、1991年度に労働時間は2.5%の減少を示した後、本年度に入っても、とりわけ工業部門で、さらに急速な減少をつづけている。また、1991年度に2.7%であった失業率は、本年度5.3%、来年度には7%にまで上昇することが見込まれている。ただし、本年度1%の減少を示した製品輸出は、1993年に3%の増加を示すであろう。唯一明るい兆候は物価上昇率の低いことで、インフレ率は過去25年間で最低であった。予想では、今後とも、インフレ率は低レベルにとどまり、1992年の消費者物価上昇率はわずかに1.4%と見込まれている。なお、来年度の食品の付加価値税及びガソリン税の増税が、消費者物価を3.3%上昇させることが予想されている。」

(SIP 329/92)

# 平成4年度研究月報目次一覧

- No. 1 新年の御挨拶……………西村 光夫  
Season's Greetings  
……………カローラ・タム報道官  
前駐日スウェーデン大使  
オーヴェ・ヘイマン閣下の離日に当って  
……………岡沢 憲美  
ノーベル賞九十周年記念式典の周辺  
……………フォン・オイラー 三根子  
不景気と人種差別……………三瓶 恵子  
〈SIPニュース〉  
平成2年度研究所活動メモ
- No. 2 北欧と新国際秩序の形成……………武田 龍夫  
1992/93年度予算案について(1)  
……………松下 正三  
グンナー先生のこと(1)……………国本 雅也  
〈SIPニュース〉/訂正
- No. 3 パブリシティとプライバシー…潮見憲三郎  
スウェーデンのEC加盟と中立の行方  
……………開沼 正  
1992/93年度予算案について(2)  
……………松下 正三  
グンナー先生のこと(2)……………国本 雅也  
研究報告・書評/SIPニュース
- No. 4 スウェーデン教育における自由化の動向  
……………中嶋 博  
国立か公立か -12条ホームの行方-  
……………坂田 仁  
お知らせ・研究会報告  
国民高等学校難民クラスに留学して  
……………山井 和則  
女性が働けるスウェーデン……………金井ユキエ  
SIPニュース・訂正
- No. 5 首席国会オンブズマン エークルド氏の  
来日を迎えて……………川野 秀之  
スウェーデン型社会福祉と日本の社会福祉  
改革……………松浜 憲雄  
お知らせ  
新刊紹介・研究会報告/SIPニュース
- No. 6 新会長御挨拶……………松前 達郎  
スウェーデンにおける新たな地図と地域研  
究の必要性……………川崎 一彦  
岐路に立つスウェーデン平和運動  
……………玉井 秀樹  
ルンドの地方政治家たち……………斉藤 弥生  
お知らせ・SIPニュース
- No.7・8 ルンドからの近況報告……………飯野 靖四  
女・女・女……………三瓶 恵子  
過労死を免れた先輩……………中山 庸子  
スウェーデンにおける教育研究について  
……………上平 正道  
研究会報告・新刊紹介  
SIPニュース  
資料一覧 Institute för Social Forskning
- No. 9 スウェーデンの経済と生活の質  
……………丸尾 直美  
スウェーデンの税制改革……………藤岡 純一  
ILO統計に見るスウェーデンの社会保障  
の特徴……………一圓 光彌  
議会オンブズマンに関する広報資料(翻訳)  
……………坂田 仁  
研究会報告・SIPニュース
- No.10 北欧諸国における製造物責任の動向  
……………山田 清志  
ストックホルム市の都市計画……………永島 宣彦  
元気老人と福祉……………山井 和則  
21世紀への協同組合の革新……………中山 博邦  
新刊紹介・研究会報告  
25周年記念講演会報告  
SIPニュース
- No.11 新しい出発にあたって……………西村 光夫  
創立25周年を迎えて……………松前 達郎  
スウェーデン大使の祝辞  
半世紀……………小野寺百合子  
政治改革の為のスウェーデン・モデル  
……………岡野加穂留  
スウェーデンの女性国会議員……………斉藤 弥生  
新刊紹介  
SIPニュース
- No.12 EC加盟でためされる[コンセンサス・ポ  
リティックス]の真価……………岡沢 憲美  
岡沢憲美教授 北極星勲章コマンドー受賞  
スウェーデンにおける政策参加制度の変容  
……………宮本 太郎  
お知らせ/新刊紹介・SIPニュース  
平成4年度研究月報目次一覧



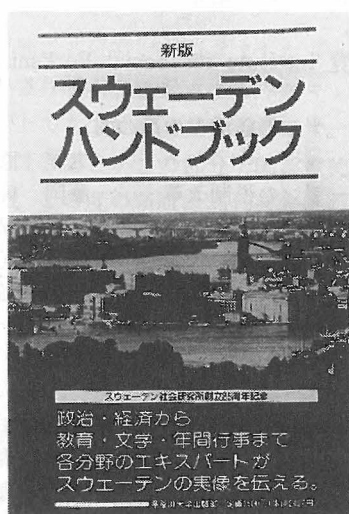
早稲田大学出版部 169 東京都新宿区戸塚町1-103  
電話03-3203-1551/価格は税込

新版

# スウェーデン ハンドブック

各ジャンルのエキスパートによる  
最新情報を満載したスウェーデン案内!

●主要目次 1 地理的位置と自然/石井新太郎 2 人口構造の  
変革と移民問題/ウルバン・ダールレフ 3 産業構造と国際  
貿易/永山泰彦 4 労働市場と労働政策/丸尾直美 5 議会政  
治と行政/岡野加穂留 6 租税制度と財政/飯野靖四 7 外交  
/藤牧新平 8 教育と研究/中嶋博 9 女性と社会/三瓶恵子  
10 司法制度/坂田仁 11 福祉政策/一番ヶ瀬康子 12 マス・メ  
ディア/三木宮彦 13 文学と言語/山下泰文 14 文化とスポー  
ツ/大東省三 15 食生活と伝統行事/小野寺百合子 16 スウェ  
ーデンの未来/岡沢憲美



スウェーデン社会研究所編

四六判/346頁  
定価2500円

## スウェーデンは、いま

●フロンティア国家の実像

岡沢憲美 伝記的側面に踏み込んだ元首相ウーロフ・パルメ論を軸に、福祉、男女機会均等、生涯教育、組合運動、コミュニケーションの自治等の状況を日本との比較をまじえながらレポートする。早稲田選書7 定価一五四五円

## 北欧デモクラシー

●その成立と展開

早大社会科学研究所北欧部会編 北欧諸国を特徴づける経済、政党政治、憲法、オンブツマン制度、学習社会、言語の実態を、データにもとづいて分析して、ポスト福祉国家が担う課題とは何かをさぐる。定価二二六六円

## 社会民主主義の動向

●福祉国家と労働者階級

R・スケイス、萩野浩基監訳 イギリスとスウェーデンの実地調査を通して、両国の社会構造、労働者の平等意識、福祉国家論を比較検討し、現代の資本主義社会の中の社会民主主義の役割を追求する。定価二〇六〇円

## 情報公開と行政秘密

●先進諸国の動向

D・C・ローワット、堤口康博監訳 先進二か国を取り上げ、公開を要求する権利、情報の保管者、情報の受け手、公開の手続の基本項目にそって国別に考察し、その歴史的背景、特色を明らかにする。定価三九一四円

注目を浴びる〈生活大国〉の基本理念とは何か!

## スウェーデンを検証する

岡沢憲美

\* 明年2月刊行予定/予価二〇〇〇円